

## Pick Up!



# 国勢調査

## 2020



にご協力をお願いします

問 政策情報課 ☎(22)2111(内線217)

今年は、5年に一度の国勢調査の実施年です。調査は、日本に住む全ての人と世帯が対象で、10月1日(休)を調査期日として全国一斉に行います。この調査を通じて、人口・世帯数をはじめ、男女・年齢別、産業別人口の構造や、世帯構成・居住状況について明らかにすることができ、さまざまな政策に役立てられます。日本の未来をつくるための大切な調査ですので、ご協力をお願いします。

なお、調査は、感染症対策として、インターホンやドア越しでのご説明など、調査世帯とできる限り対面しない方法で実施します。回答は、調査票の郵送または調査員への提出の他、インターネットにより行うことができます。インターネットによる回答は24時間受け付けているため、とても便利ですので、ぜひパソコンやスマートフォンからご回答ください。



▲調査票の様式など



国勢調査は1920年の第1回調査から、今年で100年目の節目を迎えます。

### 人口の動き

面積：112.18km<sup>2</sup>  
 人口：42,145人 (-36)  
 男：20,416人 (-23)  
 女：21,729人 (-13)  
 世帯数：15,950戸(+18)  
**【2020年8月1日現在】**  
 ( )は前月比。  
 2015年国勢調査を基に推計。



中野市公式  
ホームページ



中野市役所広報  
facebook



中野市公式  
Instagram



中野市議会

令和2年9月定例会の会期日程  
 9月1日(休)～9月24日(休)  
 市政一般質問  
 9月8日(休)、9日(休)、10日(休)

ページ

03 キラリ★中野のチカラ

04 特集 シーズン到来！  
高社山に登ろう

10 信州なかの日和 /  
市長のわくわくレポート

11 マイナンバーカードで  
暮らしを便利に！

12 空き家活用のご相談

14 猫と人のちょうどいい関係

15 市民会館リノベーション基本設計(案)  
市民説明会を開催

16 粋 ～介護予防の情報かわら版～

18 生き生き！健康メモ / 保健だより

19 市民リレー元気の輪 / シニア情報

20 子育て案内

20 子育て支援センター行事予定 /  
わが家のアイドル

22 暮らしの情報掲示板

27 地域支え合い商品券 /  
新型コロナウイルスに関する人権啓発

28 文化なかの

30 図書館情報

31 博物館だより

32 夢 / 広報クイズ

※「まちかどトピックス」はお休みします。

※掲載している行事や講座などは、中止・延期することがあります。詳しくは公式ホームページなどでご確認ください。

### 今月の表紙

普段から何気なく眺めている高社山ですが、季節や、方角によっていろいろな美しい姿を見せられます。今回は、「高社山に登ろう」ということで、身近な高社山に登ってみるのはいかがでしょうか。







地域の未来を照らすみなさんを紹介します。

# キラリ★中野のチカラ No. 81

好きな言葉は「努力」。

## -Profile- まき しゅうご

1998年中野市に生まれる。小学校1年から野球を始め、中野小学校ではキングアニマルズ、南宮中学校では若穂リトルシニアに所属した。中学卒業後、松本市の松本第一高校に進学し、現在、中央大学硬式野球部に在籍。19年秋の東都大学野球1部リーグではベストナイン及びMVPに輝き、同年の第43回日米大学野球選手権大会では大学日本代表の4番として出場し、本塁打を含む5打点を挙げ活躍した。今年のプロ野球ドラフト会議では注目選手のひとりとされている。



▲野球大学日本代表では背番号6番をつけた



▲ウェブ会議アプリ「Zoom」を使用して取材を実施



硬式野球部

主将 牧 秀悟

# 「ル

とができました。」

ルーツは中野小のキングアニマルズです。そこで、仲間とともに試合に勝つ喜びを知ることができました。」  
広角に打ち分けられるバッティングが強みで、リーグ戦の成績や、野球大学日本代表に選ばれた実力から、今年のプロ野球ドラフト会議の上位指名候補といわれる牧選手。所属する硬式野球部では主将も務め、下級生の見本となるような責任感ももち取り組んでいる。今季は、新型コロナウイルスの影響で、東都大学野球春季リーグが中止となり、秋季リーグに向け練習を続けている。  
「昔から人一倍、努力を惜しまぬよう練習に取り組んできましたが、高校卒業時は、まだ自分の実力がプロで通用すると思わず、大学進学を選びました。現在は、リーグ戦などで活躍できていることや、大学日本代表として、世界の選手と対戦することができ、自信をつけてきています。プロ野球を意識し始めたのも代表に選ばれてからで、読売ジャイアンツの坂本勇人選手や、広島東洋カープの鈴木誠也選手のような、走攻守そろった選手を目指しています。また、プロとして活躍することで、中野市の子供たちの野球競技人口の増加につながればと思います。」  
「新型コロナウイルスの影響で、野球に限らず、いろいろな競技の大会が中止となり、悲しい思いをしている人もいると思います。しかし、その競技を通じて知り合えた仲間や、競技を楽しむ気持ち、試合などでの勝利の喜びは、とても大切な経験です。今後も、その気持ちを胸に、競技を続けていってほしいと思います。」

※中央大学よりロゴ提供